



エンジョイ・3学期!

6年生と共に、1日1日を大切に!

いちげつい にげつに さんげつさ
「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」

これは、正月から三月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを、調子よくいった表現だそうです。学校でも、3学期があっという間に終わってしまうことを「行く1月、逃げる2月、去る3月」と表現することがあります。

1月号で、卒業式の事を話題にしましたが、今年の卒業式は、3月15日(金)です。つまり、6年生と過ごせる日々も、いよいよ限られてきました。一緒におにごっこをしたり、縄跳びを教えてもらったり…。お互い一緒に過ごせる時間を大切に、思い出をいっぱい作りましょう。

6年生も、自分のため、友達のため、学校のために、何が残せるかを考えながら過ごしてください。

～中学生になった自分を思い浮かべながら～

☆1月の行事等を紹介します。HPもご覧ください。

<1/17 第4回学校運営協議会>

今年度最後の学校運営協議会が開催されました。授業のようすを見ていただいたり、「学校評価」の集計結果について、ご意見をいただいたりしました。

■授業参観後、次のようなご意見をいただきました。

- ・5・6年生、しっかり話を聞いている。雰囲気が違う。
- ・6年国語…「同音異義語」漢字を正しく使う。できそうでできないこと。PCの変換に頼り切り?
- ・会話(言葉のキャッチボール)をしながらの授業、先生とのコミュニケーションを取りながらの授業に好感がもてた。昔は、一方通行だったような…。
- ・4年英語…発音など、ALTの存在は大きい。ゲーム形式を取り入れていて、よく覚えられそうだ。
- ・5年総合…「みんな元気に2100年を迎えよう」を見て、大切なこと、素晴らしいことだと思った。大人は何を残せばいいのか考えさせられた。
- ・1年体育…なわとびがすごくよくできている。立派に跳んでいる。感心した。

■懇談の中で話題になったことを2つご報告します。

1. 土砂災害などで子どもたちが帰宅できなくなった場合について

①さくら連絡網等での情報発信が待たれる。

②二次災害を防ぐためにも、引渡し要請の前に、「全員無事だから、まだ、迎えに来ないでほしい。」という連絡も必要であろう。

③何よりも「水」が必要になる。「飲料水」を学校に備蓄しておきたいという考えには賛同できる。

2. 地域資源物回収への協力を感謝するとともに、今後について、より良い方法を検討していきたい。

…地域の皆様のご協力により、収益金も大幅アップ
<R4>99,165円 → <R5>137,060円

何よりも、子どもたちに楽しい学校生活を送ってほしい。そして、このような活動を通して、地域との交流をこれからも深めていきたい。そこに、この資源物回収の意義がある。

貴重なご意見をありがとうございました。

<給食週間 1/15~1/19>

全国学校給食週間(1/24~1/30)に先立ち、

- ①給食に携わる方々に感謝するとともに、日常の食生活をふり返り、食べ物の大切さについて考えを深める。
- ②給食に関する作品作りを通して、学校給食に対する意識を高める。 を目的として実施しました。

<実施内容>①調理員さん・栄養士さん・栄養教諭へ感謝の手紙を書く。②給食カルタの作成(図書室前掲示)③給食標語の作成(図書室前掲示)④献立作成(リクエスト献立)

<1/19 栄養士さん・調理員さんへの感謝の会>

給食後の忙しい中、藍栄養士さん、橋本調理員さん、小林調理員さんに体育館に来ていただき、感謝の会を催しました。会の中では、「感謝の手紙」を代表児童が読み、全児童からの手紙を贈呈させていただきました。

毎日、安全でおいしい、バランスの取れた給食をつくっていただいていることに、みんなで感謝の気持ちを表しました。



<1/24 令和6年度入学児童 一日入学>

今年の新1年生も、寒さに負けずとても元気でした。保護者対象の説明会が始まるまでの待ち時間には、元気いっぱい体育館を走り回っていました。とても微笑ましい光景でした。また、“大谷グローブ”も好評でした。手にはめて、投球モーションを取る子もいました。記念写真を撮る保護者の姿も見られました。

一方、現1・2年生たちも、新1年生のお世話をよく頑張っていたとのこと。1つ学年が上がるという意識があるということを感じさせてくれたようです。

新1年生 17 名のご入学を、おのでらっ子、そして教職員一同、心より楽しみにしております。

***** 架け橋期の子どもたち *****

文部科学省「『幼保小の架け橋プログラム』の実施に向けての手引き」から引用しました。

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期です。本手引き(初版)では、この時期を「架け橋期」と呼ぶことにしました。

▶架け橋期の子どもたちの「上れない段差」

遊びの中での学び、時間の区切りが緩やかな生活
→国語・算数等の教科学習、時間で区切られた授業

▶架け橋期の子どもたちの「下りたくない段差」

最年長でしっかり者、自分でやろうとする意欲・自尊心
→小学校:最年少の1年生は、できないことが前提になってしまいがち→できるのに…、つまらない
小野寺小学校においても、1年生が、生き生きと自己発揮できるような指導の工夫や指導計画の作成に注力して参ります。そのために、私(江田)自身も研修を積まなければならないと考えております。

<1/15~1/19 あいさつ強調週間>

今回は、2・4年生が中心になって進めてくれました。毎朝、2年生がバックネット付近に、4年生が朝礼台前に並んで、登校してくるみんなと元気なあいさつを交わしていました。寒風の中でしたが、冬晴れの青空の下、気持ちの良い朝を迎えることができました。

校舎内のあいさつも、一人ひとりがレベルアップしたように思います。

これからも、この調子でお願いします!



<1/31 ボランティアのみなさんへの感謝会>

読み聞かせボランティアさんや託児ボランティアさんをはじめとして、日頃からお世話になっているたくさんの方々に感謝の気持ちを表す会を開催しました。皆様に支えられ、安全安心な学校生活と豊かな体験活動が実現しています。ありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。

♪ <1/26 表現活動交流会②> ♪

國學院大學栃木短期大学 人間教育学科子ども教育フィールドの1・2年生27名とおのでらっ子たちが、「音楽での交流を図ることで、コミュニケーション力の育成や体と楽器を使った表現の楽しさを味わわせる。」をねらいとして、交流会が行われました。

どの会場からも、おのでらっ子の歓声と様々な楽器の素敵な音色が聞こえてきました。

1年生「ベルプレートで、よびかけっこしよう」
2年生「わらべうたであそぼう」
3年生「竹の楽器 トガトンで音楽づくり」
4年生「世界の音楽 ジャンベで音楽づくり」
5年生「トーンチャイムで音楽づくり」
6年生「琴に親しもうー自由な調弦で音楽づくりー」

午後の閉会行事では、発表会が行われました。どの学年の演奏にも練習の成果が十分に表れていました。そして、その演奏を鑑賞している表情も大変素晴らしく、みんなの「きれいな心」に、今回もふれることができました。昼休みには、全員で外に出て走り回りました。たくさん遊べて最高でしたね!

***** 江田コラム *****

「自分らしく」という表現が、以前よりもたくさん使われるようになってきた気がします。でも、どういうことが「自分らしく」ということなのか分からないという人も多いのではないのでしょうか? 「目指せ博士ちゃん!」を企画したのも、その辺に理由があるからです。自分の良いところってどんどこ? 自分は何が好き? 何なら夢中になれる? 苦手を克服することはもちろん大切ですが、得手とすることをとことん追求し、「自分には、これがある!」と思えるようになってほしい。そんなことを、これからも、おのでらっ子のみんなに求めてみたいと思っています。

※みんなに提出してもらったプリントを、内容を抜粋して一覧にしてみました。(裏面) お友達が何博士ちゃんを目指したのか、見てみてください。「あっ、これ、きっと〇〇ちゃんだ!」って分かってもらえたらすごいね!

<1/20 SLIM ピンポイント着陸 見事成功!>
JAXA の LIVE 中継を食い入るように見てしまいました。JAXA の自己採点は 60 点だそうです、世界で 5 国目となる月着陸。素晴らしい功績だと思います。

太陽電池発電も無事に復活して、これからの SLIM の偉業がますます期待されますね。

だれか、SLIM 博士ちゃんになってくれないかなあ~(へ▽へ)/

